

2020年8月2日主日礼拝

聖書 新改訳 2017©2017 新日本聖書刊行会

招詞：ヨハネの福音書 14 章 6 節

イエスは彼に言われた。

「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれも父のみもとに行くことはできません。」

賛美：教会福音讃美歌 61「神のみ子は世に来られた」

1. 神のみ子は 世に来られた。われらのため 貧しくなり
罪のくさり 断ち切られた。
2. 今もみ子は 教えられる、
「罪をはなれ、悔い改め、まことの道、進みゆけ」と。
4. われらが主を 味ううため、パンとぶどう酒 備えられた。
これこそ主の 愛のしるし。
5. 立てよ堅く 主のみむねに つねに生きよ 主のみわざに。
主に召される その時まで。

聖書朗読：ルツ記 2 章 23 節～3 章 18 節

- 23 それで、ルツはボアズのところの若い女たちから離れないで、大麦の刈り入れと小麦の刈り入れが終わるまで落ち穂を拾い集めた。こうして、彼女は姑と暮らした。
- 3:1 姑のナオミは彼女に言った。「娘よ。あなたが幸せになるために、身の落ち着き所を私が探してあげなければなりません。2 あなたと一緒にいた若い女たちの主人ボアズは、私たちの親戚ではありませんか。ちょうど今夜、あの方は打ち場で大麦をふるい分けようとしています。3 あなたはからだを洗って油を塗り、晴れ着をまとして打ち場に行きなさい。けれども、あの方が食べたり飲んだりし終わるまでは、気づかれないようにしなさい。4 あの方が寝るとき、その場所を見届け、後で入って行ってその足もとをまくり、そこで寝なさい。あの方はあなたがすべきことを教えてくれるでしょう。」5 ルツは姑に言った。「おっしゃることは、みないたします。」6 こうして、彼女は打ち場に行き、姑が命じたことをすべて行った。7 ボアズは食べたり飲んだりして、気分が良くなり、積み重ねてある麦の傍らに行き寝た。彼女はこっそり行って、ボアズの足もとをまくり、そこに寝た。8 夜中になって、その人は驚いて起き直った。見ると、一人の女の自分が自分の足もとに寝ていた。9 彼は言った。「あなたはだれだ。」彼女は言った。「私はあなたのはしためルツです。あなたの覆いを、あなたのはしための上に広げてください。あなたは買い戻しの権利のある親類です。」10 ボアズは言った。「娘さん、主があなたを祝福されるように。

あなたが示した、今回の誠実さは、先の誠実さにまさっています。あなたは、貧しい者でも富んだ者でも、若い男の後は追いかけていませんでした。11 娘さん、もう恐れる必要はありません。あなたが言うことはすべてしてあげましょう。この町の人々はみな、あなたがしっかりした女であることを知っています。12 ところで、確かに私は買い戻しの権利のある親類ですが、私よりももっと近い、買い戻しの権利のある親類がいます。13 今夜はここで過ごしなさい。朝になって、もしその人があなたに親類の役目を果たすなら、それでよいでしょう。その人に親類の役目を果たしてもらいましょう。もし、その人が親類の役目を果たすことを望まないなら、私がおあなたを買い戻します。主は生きておられます。さあ、朝までお休みなさい。」14 ルツは朝まで彼の足もとで寝て、だれかれの見分けがつかないうちに起きた。彼は「打ち場に彼女が来たことが知られてはならない」と思い、15 「あなたが着ている上着を持って、それをしっかりつかんでいなさい」と言った。彼女がそれをしっかりつかむと、彼は大麦六杯を量り、それを彼女に背負わせた。それから、彼は町へ行った。16 彼女が姑のところに行くと、姑は尋ねた。「娘よ、どうでしたか。」ルツは、その人が自分にしてくれたことをすべて姑に告げて、17 こう言った。「あなたの姑のところの手ぶらで帰ってはならないと言って、あの方はこの大麦六杯を下さいました。」18 姑は言った。「娘よ、このことがどう収まるか分かるまで待っていなさい。あの方は、今日このことを決めてしまわなければ落ち着かないでしょうから。」

賛美：教会福音讃美歌 261「しみも咎も」

1. しみも咎も 汚れもなき 小羊 わが主は ほふられしや
4. こはわがため 与えたもう いのちの糧なり 飲み物なり
5. 懐かしくも 見失せし主は まもなく 再び 来たりたまわん
6. その時まで 十字架を負わん 救いの恵みを 喜びつつ

賛美：教会福音讃美歌 404「主とともに歩む日々」

1. 主とともに歩む日々 やさしい み声は 疑いをぬぐい去り
恐れを取り去る。
(くりかえし) 救い主なる 主イエスと きょうも 歩む
どんなときでも主イエスとともに進み行こう
3. 主とともに歩む日々 豊かに満たされ 行く道すじのすべて
照らしてくださる。

頌栄：教会福音讃美歌 272「みつにましてひとつの神」

父なる神 子なる神 御霊の神は ひとつ
三つにいます神に み栄えあれ アーメン